

通級センター機能部について

盲特別支援学校には、幼稚部から高等部専攻科までの各学部・科のほか、「通級センター機能部」という部署があり、3名の職員が所属しています。今回は、「通級センター機能部」の業務内容についてお知らせいたします。

弱視通級指導教室での指導

市内唯一の弱視通級指導教室として、盲特別支援学校の分教室が神奈川小学校に設置されています。通級センター機能部の職員3名が、通級指導を担当しています。

平成28年度は、10名の小中学生が週1回～月1回程度、視覚活用のための学習や弱視レンズの練習などのために通ってきています。

また、市内の弱視学級と合同で「集団活動」を年4回行っています。ボウリングやゴールボールなどの体験的な活動を行って交流を深めています。



視覚障害センター的機能の窓口

本校の視覚障害に関する専門性を活かし、地域の方々に対する相談支援も行っています。

平成27年度は、年間のべ150件の相談がありました（電話のみの相談を含む）。そのうち、学校へ訪問して相談支援を行うケースは16件ありました。夏季休業中には「夏の相談日」を4日間設定し、22件の相談支援を行いました。

視覚障害に関する専門性をもった相談機関はあまり多くありません。そのため、本校には乳幼児から成人まで幅広い年齢層の方についての相談が寄せられます。また、横浜市内に限らず、川崎市や横須賀市、東京都内からの相談も多くあります。保護者や学校関係者以外に、医療関係者からの問い合わせも増えています。

本校に寄せられる相談支援の依頼内容は多岐にわたっています。通級センター機能部を支援の窓口として、本校全教職員の専門性をもって支援を行っています。

また、盲特別支援学校では啓発活動にも積極的に取り組んでおり、市内の小中特別支援学校で視覚障害理解研修を行っています。

★主な相談内容

- ・弱視レンズなどの視覚補助具について
- ・学習上有効な教材や支援の仕方について
- ・拡大教科書の選定にあたって、最適文字サイズの測定
- ・点字、歩行、各種機器について
- ・就学、進学、就労について

校内の幼児児童生徒への支援も行っています。

各学部の特別支援教育コーディネーターにご相談ください。